

平成29年度

苫小牧市立病院新改革プラン評価報告書

平成29年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

目 次

1	はじめに	1
2	新改革プランに対する点検及び評価結果	
	(1) 委員会としての具体的な評価手法	2
	(2) 委員会評価	2
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅰ	5
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ	6
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ	7
	【附属資料】	
	委員名簿	8
	委員会の開催状況等	9

1 はじめに

本委員会は、平成29年2月に策定された「苫小牧市立病院新改革プラン」の進捗状況に対する点検及び評価、市立病院の経営状況に係る専門的な意見を提言することを目的として、医療関係、経済界、学識経験者からなる外部委員で構成された評価委員会である。

今年度は手始めに、計画初年度である平成28年度分について、点検及び評価、並びに意見提言を求められた。

点検・評価手法は、平成29年2月に策定されたプランと平成28年度決算を踏まえたローリング版について、市立病院が平成28年度見込値と平成28年度実績値を比較することにより、自らの経営状況を評価した自己評価に基づき、委員会での審議を重ねた。具体的な評価・意見等については、本編に示したので御覧いただきたい。

経営状況としては、東胆振医療圏域の中核病院として、経営資源を概ね適正に活用し、地域医療に貢献していることがうかがわれるものであったが、目標未達成の項目については、平成32年度までの計画期間において目標が達成されることを期待する。

今後も、医療を取り巻く状況は依然として厳しく、先行き不透明な要素も多くあるが、プランの着実な進捗を推し進めることにより、東胆振医療圏域の中核病院として、高度・政策医療の充実に努めるとともに、計画期間内に安定的な経営基盤を確立されることを希望する。

平成29年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

委員長 吉 鶴 博 生

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 委員会としての具体的な評価手法

苫小牧市立病院が策定した「苫小牧市立病院新改革プラン自己評価（平成29年9月苫小牧市立病院）」（以下、病院評価）に示された自己評価について、本委員会において病院から各項目毎に説明を求め、内容を審議した。評価基準は病院評価と同じものを用いることとした。

特に病院評価と委員会としての評価・意見が異なるものについては、委員会としての評価及び意見を付した。

【評価基準】

A：プランの目標値を余裕をもって達成し、ある程度の附加価値が生じた。

B：プランの目標値は達成した。

C：プランの目標達成に向けて取組みはしているが、現状未達成である。

D：プランの目標達成に向けて取組めていない。

E：検討して（されて）いない。

—：評価対象外

(2) 委員会評価

【総評】

今年度は計画の初年度であるため、見込値と実績値との解離は少ないものの、プランの目標値をわずかに達成していない項目が多く、病院評価においては「C」評価とされているものも多く見受けられる。

しかしながら、病院の経営状況としては、東胆振医療圏域の中核病院として経営資源を概ね適正に活用し、地域医療に貢献しているものと判断した。

また、「D」評価（「取組めていない」）、「E」評価（「検討していない」）とされている項目はなく、全ての評価項目について病院として取組を始めていることを確認した。

【個別項目の評価】

委員会審議の結果、病院評価と違う委員会評価としたもの、また、特に評価・意見を付すこととしたものについて、以下に示す。

・ 【医療機能等指標に係る項目】 項番 1 「救急患者数」

救急患者数は実績値が見込値に届かなかったため、病院評価は「C」評価とされている。

一方で、平成28年度の王子総合病院、夜間・休日急病センター及び苫小牧市立病院の時間外救急患者数の合計（以下「3医療機関の時間外救急患者総数」という。）も減少傾向にあり、当医療圏域における一次救急、二次救急のすみ分けは、良好に維持されていると考えられる。

このため、委員会評価は「B」評価とする。

（参考） 3医療機関の時間外救急患者総数

	平成27年度	平成28年度	増減
	30,333人	29,551人	▲782人
うち市立病院	4,703人	4,401人	▲302人

・ 【収支改善に係る項目】 項番 4 「経常収支比率」

経常収支比率は総務省より通知された「新公立病院改革ガイドライン」で持続可能な経営を実現するための経営指標の一つとして捉える必要性があるとされており、病院経営の効率化を考える上で、鍵となる指標であると考えられる。

新改革プランでは平成32年度で100.4%の数値目標が掲げられていることから、今後の経営努力を期待したい。

・ 【収入確保に係る項目】 項番 10 「病床利用率」

市立病院は冬期の稼働率が高く、春先から夏場は稼働率が低い傾向となっており、年間を通じて高い病床利用率を維持できていない。

一方で、「ハイリスクの出産」や「NICU（新生児特定集中治療室）への低体重児」を確実に受入れするためには、ピーク時に合わせた人員配置、施設体制を整える必要がある。

また、近年の平均在院日数の短縮化の流れは、病床利用率低下の一因となるが、診療報酬算定上は有利に働くため、これまで市立病院は入院期間の短縮に積極的に取り組んできた。そうした背景についても考慮する必要があるものとする。

このため、病床利用率は、平成30年に予定されている診療報酬改定の動向も注視しながら、目標値を調整することも考えていく必要がある。

・ 【経営安定性に係る項目】 項番 13 「医師数」

医師数は見込値、実績値とも81名であるが、対前年比で6名増加していることは評価に値する。

また、医師免許取得後2年間市立病院で研修を行う「基幹型の初期臨床研修医」も、3年連続で定員の6名を確保していることも評価したい。

このため、委員会評価を「A」としてもよいのではとの意見も出たが、減員となった診療科もあることから、委員会評価は病院評価と同じ「B」評価とする。

個々の評価項目に対する本委員会の評価及び意見の一覧については、5～7ページに示した。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【医療機能等指標に係る項目】

項番	項目	28年度見込値	28年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	救急患者数	4,500	4,401	C	B	救急患者数は実績値が見込値に届かなかったため、病院評価は「C」評価とされている。一方で、平成28年度の王子総合病院、夜間・休日急病センター及び苫小牧市立病院の時間外救急患者数の合計（以下「3医療機関の時間外救急患者総数」という。）も減少傾向にあり、当医療圏域における一次救急、二次救急のすみ分けは、良好に維持されていると考えられる。このため、委員会評価は「B」評価とする。
2	手術件数	2,500	2,546	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
3	紹介患者数	9,550	9,299	C	C	

【収支改善に係る項目】

項番	項目	28年度見込値	28年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
4	経常収支比率	98.3	98.3	B	B	経常収支比率は総務省より通知された「新公立病院改革ガイドライン」で持続可能な経営を実現するための経営指標の一つとして捉える必要があるとされており、病院経営の効率化を考える上で、鍵となる指標であると考えられる。 新改革プランでは平成32年度で100.4%の数値目標が掲げられていることから、今後の経営努力を期待したい。
5	医業収益比率	90.8	90.7	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
6	資金不足比率	4.3	4.4	C	C	

【経費削減に係る項目】

項番	項目	28年度見込値	28年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
7	職員給与比率	52.4	52.8	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
8	材料費比率	23.1	23.0	B	B	
9	後発医薬品(ジェネリック)使用割合	73.0	83.4	A	A	

【収入確保に係る項目】

項番	項目	28年度見込値	28年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
10	病床利用率	76.0	76.3	B	B	市立病院は冬期の稼働率が高く、春先から夏場は稼働率が低い傾向となっており、年間を通じて高い病床利用率を維持できていない。 一方で、「ハイリスクの出産」や「NICU（新生児特定集中治療室）への低体重児」を確実に受入れるためには、ピーク時に合わせた人員配置、施設体制を整える必要がある。また、近年の平均在院日数の短縮化の流れは、病床利用率低下の一因となるが、診療報酬算定上は有利に働くため、これまで市立病院は入院期間の短縮に積極的に取り組んできた。そうした背景についても考慮する必要があるものとする。このため、病床利用率は、平成30年に予定されている診療報酬改定の動向も注視しながら、目標値を調整することも考えていく必要がある。
11	入院単価	58,000	57,053	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
12	外来単価	12,300	12,643	A	A	

【経営の安定性に係る項目】

項番	項目	28年度見込値	28年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
13	医師数 (臨床研修医等も含む)	81	81	B	B	医師数は見込値、実績値とも81名であるが、対前年比で6名増加していることは評価に値する。また、医師免許取得後2年間市立病院で研修を行う「基幹型の初期臨床研修医」も、3年連続で定員の6名を確保していることも評価したい。このため、委員会評価を「A」としてもよいのではとの意見も出たが、減員となった診療科もあることから、委員会評価は病院評価と同じ「B」評価とする。
14	企業債残高	10,811	10,810	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
15	一時借入金残高	1,262	1,471	C	C	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
1	安定した医師確保	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	看護師、コメディカルなど診療体制に見合う人材確保	28年度～	B	B	
3	初期臨床研修医受入体制の強化	28年度～	A	A	
4	院内研修等による多職種連携の更なる推進	28年度～	B	B	

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
5	認知症ケアチームなどのチーム医療の強化	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
6	働きやすい院内環境の整備など	28年度～	B	B	
7	医療機関・介護施設等、多職種との情報交換会の開催	28年度～	B	B	

【収入増加（維持）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
8	7対1入院基本料などの施設基準の維持	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
9	地域包括ケア病棟の活用	28年度～	A	A	
10	ハイケアユニット（HCU）の運用	28年度～	B	B	
11	かかりつけ医との連携強化	28年度～	B	B	

【経費削減（抑制）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
12	医療機器の効率的で効果的な更新整備	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
13	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の拡大	28年度～	A	A	
14	材料費価格の適正化	28年度～	B	B	
15	エネルギー診断等による光熱水費の削減	28年度～	C	C	

【その他】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
16	院内スペースの狭隘化解消	29年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
17	経営形態の現状と見直しの方向性	29年度～	—	—	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ

【毎年度の収支計画】

(単位：百万円)

項番	収益的収支	28年度 見込値	28年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	病院事業収益	10,478	10,403	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	医業収益	9,212	9,144	C	C	
3	入院収益	6,135	6,068	C	C	
4	外来収益	2,517	2,520	B	B	
5	その他	560	556	C	C	
6	医業外収益	1,262	1,255	C	C	
7	特別利益	4	4	B	B	
8	病院事業費用	10,682	10,604	B	B	
9	医業費用	10,148	10,079	B	B	
10	職員給与費	4,831	4,824	B	B	
11	材料費	2,129	2,107	B	B	
12	経費	2,228	2,247	C	C	
13	その他	960	901	B	B	
14	医業外費用外	510	503	B	B	
15	特別損失	24	22	B	B	
16	経常収支	▲ 184	▲ 183	B	B	
17	当年度純損益	▲ 204	▲ 201	B	B	
18	内部留保資金	689	703	-	-	

項番	資本的収支	28年度 見込値	28年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
19	資本的収入	767	776	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
20	企業債	298	296	B	B	
21	他会計負担金	454	454	B	B	
22	その他	15	26	B	B	
23	資本的支出	1,148	1,143	B	B	
24	建設改良費	344	340	B	B	
25	企業債償還金	768	768	B	B	
26	その他	36	35	B	B	
27	資本的収支	▲ 381	▲ 367	B	B	

28	その他資金変動額	▲ 211	▲ 250	-	-	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
29	単年度資金収支	▲ 107	▲ 115	C	C	
30	累積資金収支	▲ 1,573	▲ 1,581	C	C	

31	資金不足算入対象外流動負債	1,174	1,172	-	-	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
32	資金不足額	399	409	C	C	
33	資金不足比率	4.3	4.4	C	C	

【附属資料】

委員名簿

区分		所属	役職	氏名	備考
医療関係	委員長	一般社団法人 苫小牧市医師会	副会長	吉 鶴 博 生	
		一般財団法人 苫小牧保健センター	専務理事	棒 手 由美子	
		苫小牧保健所	次長	高 橋 英 俊	
経済界	委員	苫小牧信用金庫	営業推進役	稲 村 幸 男	
		副委員長 苫小牧商工会議所	専務理事	森 本 恭 行	
		苫小牧消費者協会	理事	伴 辺 久 子	
学識経験者		苫小牧駒澤大学	学長	川 島 和 浩	
事務局		苫小牧市	副市長	佐々木 昭彦	
		市立病院	院長	松 岡 伸 一	
			事務部長	椿 勇 喜	
			次長	佐々木 薫	
			経営管理課長	那 須 哲 也	
			医事課長	小 林 泰 賀	
			地域医療連携室 副主幹	名 越 真 浩	
			経営管理課 課長補佐	大 坂 かやの	
			経営管理課 財務係主査	佐 藤 純 哉	庶務担当

委員会の開催状況等（平成29年度）

評価委員会・市議会審議日程

日付	内容	備考
9/27	第1回評価委員会 委嘱状交付・自己評価書提示	委員出席
10/10～11	市議会決算委員会 改革プランローリング版提示	
10/18	第2回評価委員会 自己評価の審議 委員会評価の審議	委員出席
11/7	第3回評価委員会開催 委員会評価の決定	委員出席
11/29	市長へ委員会評価報告書提出	委員長、副委員長出席
12月	市議会議会（厚生委員会） 委員会評価報告書を提出予定	

評価委員会の開催場所等

	日時	場所	備考
第1回	9/27（水）18:30～	市立病院 講堂A	
第2回	10/18（水）18:30～	市立病院 講堂B	
第3回	11/7（火）18:30～	市立病院 会議室1～3	

市長への評価報告書提出の開催場所等

日時	場所	内容	備考
11/29（水）15:30～	市役所5階第一応接室	委員長、副委員長から 市長へ評価報告書を提出	